

「リニア新幹線前倒し建設に賛成なのですがストロー現象が  
気になりますか？」

平成 28 年 4 月 5 日

●窪田信志さんからの質問

24 歳の時に西田さんを知りそれ以来ずっと応援してます。地方創生のために西田さんのリニア新幹線前倒し建設に賛成なのですが、ストロー現象が起きそうな気もするのですが西田さんはどうお考えですか？

●西田昌司の答え

確かに、東京と大阪が 1 時間ちょっとで結ばれてしまうと、ますます東京に人が集まるというストロー現象が懸念されますが、そうならないよう法規制が必要だと私はずっと訴えています。

東京は日本で一番インフラ整備がされていますが、いくらインフラ整備がされても土地は限られていますから今のような東京一極集中は起こらなかったはずですが。しかし、容積率を緩和して高層ビルの建設を許したために土地が増えたのと同じことになってしまい、東京が一番便利で仕事もたくさんあるとなると各地から東京に人が流入して、東京だけが勝ち組となってしまいました。

リニア新幹線の開通によってこのような状況に拍車を掛けてはいけませんので、東京の容積率を制限して、これ以上の高層ビルの建設に歯止めをかけなければなりません。そうした上で、大阪から東京にリニア中央新幹線によって 1 時間ちょっとで移動できるようにすれば、東京に会社を構えたり東京に住む必要もなくなりますし、東京に遅れを取った大阪の再生のチャンスにもなります。

さらに整備新幹線を国内に張り巡らして、地方の故郷に住んでも仕事に困らずゆったりと生活できるような環境を作れば、故郷で親兄弟や親戚に子育てを手伝ってもらうこともできますし、自然と少子化問題も解決するでしょう。「保育園落ちた日本死ね!!!」などとブログに書き込む必要もなくなります。

リニア中央新幹線や整備新幹線の計画は前倒しでやらなければなりません、東京と地方のインフラ格差を是正すると同時に、東京の土地利用を制限するという法整備をセットで行わなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>